

電車での性暴力について 一緒に考えてみませんか？

Produced by 京都女子大学 性暴力撲滅プロジェクト

2023年度 性暴力撲滅プロジェクト 作成ポスター
(京都市営地下鉄の車内・駅構内で掲出中！)



痴漢・盗撮は深刻な性暴力です。

 京都女子大学 協力 京都市交通局

目次

1. 痴漢について考える
性暴力のQ&A
2. ポスター作成者への
インタビュー
3. 被害にあわれた方の
相談窓口
4. 加害をしてしまった
方の相談窓口
5. 性暴力について
もっと考えたい方へ

制作著作：京都女子大学

痴漢について考える 性暴力のQ&A



痴漢を見かけても
どうすればいいかわからない…

「痴漢だ!」と思っても、周りの人はどうすればいいかわからず、困惑するかもしれません。そんなときは…

1. 「声をかける」

「大丈夫ですか?」などの声かけは被害者が「独りじゃない」と思うきっかけになります。友達のふりをして「おはよう!」と声をかけたり、携帯電話の音を鳴らしたりすることも周囲の注意を引く効果があります。

2. スマートフォン上で「メッセージを見せる」

「声をかけましょうか?」「痴漢されていたら合図してください」など。被害者の意思を確認して、適切に対処しましょう(通報する、被害者と加害者を引き離すなど)。京都女子大学が制作した「**かいにゆうさん**」(右図)もぜひ活用してください!

3. 緊急時はすぐに**110番**! 駅員さんに連絡しましょう

4. 加害者への**直接的なアプローチ**

有効ですがリスクも高まります。自分や被害者、周囲の安全を確保してから行いましょう。



声
を
か
け
ま
し
よ
う
か
?
た
い
じ
ょ
う
ぶ
で
す
か

「かいにゆうさん」スマートフォンからの
ダウンロードはこちらから
(京都女子大学地域連携研究センターにつながります)
https://rccp.kyoto-wu.ac.jp/?page_id=2894



痴漢ってどのくらい発生してるの？

警察庁の発表によると、令和4年度(2022年度)の痴漢・盗撮検挙件数は**2,233件**(※)でした。これは**検挙件数**であることに注意が必要です。被害者が泣き寝入りを強いられるケースや、加害者が検挙されないまま痴漢を繰り返す状況も存在するため、**実際の被害発生件数はもっと多い**と考えられます。

※警察庁生活安全局生活安全企画課
「令和4年度の迷惑防止条例等違反(痴漢・盗撮)に係る検挙状況の調査結果」より
<https://www.npa.go.jp/bureau/safetylife/bouhan/chikan/chikan.tousatu.pdf>



被害に遭うとどんな影響があるの？

私もこのプロジェクトに参加するまで、痴漢被害がどのような影響を与えるのか実感したことがありませんでした。しかし「**電車に乗れなくなった**」、「**PTSDを発症した**」という被害者の証言を聴いて、痴漢という性暴力が被害者に**深刻なダメージ**を与えることを痛感しました。



痴漢は深刻な性暴力です

京都女子大学 協力 阪急電鉄

まさか自分が被害に遭うなんて
夢にも思わなかった
怖くて声も出なかった。
誰にも言えず、つらかった。
電車に乗るのが怖くなった

被害者の証言をもとに
京都女子大学が作成した
ポスター (2020年度)



ミニスカートや露出の多い服だと痴漢に狙われそう。被害に遭うのは服装のせい？

いいえ。被害者がどんな服装であろうと痴漢の原因は加害者にあります。「そんな格好だから…」「あなたにも非があったんじゃないの？」「嫌ならその場で言わないと…」といった被害者を責める第三者の言動をセカンドレイプといます。このような偏見による二次被害は被害者をさらに苦しめる要因になってしまいます。



自分は男性だからまさか痴漢被害なんて…関係ないんじゃないの？

性暴力の問題は必ずしも被害者＝女性 だけではありません。「男性は痴漢に遭わない」という思い込みは、男性の被害者が声を上げられなくなる要因になってしまいます。性別・服装・時間帯を問わず痴漢は誰にとっても恐怖であり、痴漢という問題に関係のない人はいません。



ポスター作成者へのインタビュー

Q：ポスターの説明をお願いします

A：黒いスマートフォンは被害者を傷つける第三者、カラーのスマートフォンは被害者を助きたい第三者を表しています。痴漢を見かけてもどう行動すればよいか分からない方へのアプローチが目的なので、**第三者の目線でポスターを作成しました。**

Q：こだわりのポイントを教えてください

A：これまであまりなかった第三者の方に向けてのアプローチを意識して作成しました。**性別に関わらず被害者・加害者どちらの立場にもなる可能性があることを表現するために、登場人物の性別を明らかにしていない点がポイントです。**

また、**「痴漢防止のポスター」**だと伝わらなければ意味がないので、「痴漢」の文字を目立たせることを意識しました。他にも、キャッチコピーを手書き風にしたたり、背景を圧迫感の少ないピンクにすることで、伝わりやすさ・親しみやすさを持てるよう工夫しました。

Q：作成する上で難しかったことはありますか？

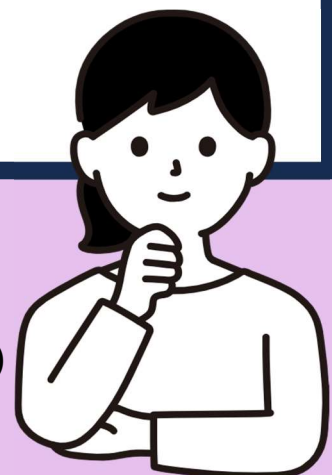
A：学生や先生方、京都市交通局の方々の意見をまとめて反映するには想像以上に配慮や制限が必要で大変でした。

また、電車の利用者はじっくりポスターを見るわけではないと思うので、誤解を生まない**シンプルなキャッチコピーや一目見ただけで伝わるデザイン**を考えることも難しかったです。

Q：ポスターを作成した感想をお願いします

A：痴漢は加害者による実際の行為だけでなく、第三者の無責任な言動も被害者を苦しめます。私たちは、このポスターから二次被害の実態を伝え、**「痴漢が深刻な性暴力である」**ことを社会の共通認識として浸透させたいと考えています。このポスターが**性暴力について考えるきっかけになれば嬉しいです。**

ポスター作成担当者
R.Mさん
(京都女子大学3回生)



《被害にあわれた方の相談窓口》

○内閣府 男女共同参画局 性犯罪・性暴力相談窓口

https://www.gender.go.jp/policy/no_violence/avjk/consultation.html

最寄りのワンストップ支援センターを検索できるほか、誰でもチャット上で匿名相談ができる「Cure time」、警察の性暴力被害相談窓口につながる全国共通番号である「#8103（ハートさん）」などが掲載されています。

○内閣府 男女共同参画局 男性のための性暴力被害ホットライン

https://www.gender.go.jp/policy/no_violence/malehotline/index.html

内閣府が提供する男性のための性被害相談窓口です。性別にかかわらず起こり得る性被害について匿名相談ができます。相談員は全員男性です。

○NPO 法人 At Link Nara

<https://www.atlinknara.org/>

電話相談やカウンセリングのほか、性暴力に関する共通の悩みを抱えた人々がつながるための交流会が定期的開催されています。

交流会にはカウンセラーや臨床心理士も参加し、安心・安全な環境で当事者同士が悩みや回復に向けた話し合いをすることができます。

○京都府警察鉄道警察隊 レディース相談窓口

TEL:075-682-0913

電車内や駅構内での痴漢や盗撮等の被害を24時間いつでも相談可能です。

《加害をしてしまった方へ》

○NPO 法人 性犯罪加害者の処遇制度を考える会
性障害専門医療センター SOMEC

<https://somec.org/somec.html>

新たな被害者を生まないために活動し続ける場所があります。
加害行為を止めたい方、その手助けをしたい方、必見です。オンライン治療
にも対応しています。

《性暴力についてもっと考えたい方へ》

○NHK 「本気で痴漢なくすプロジェクト」

<https://www.nhk.or.jp/shutoken/wr/20220323a.html>

痴漢を見かけた第三者が実践できる介入の方法が詳しく掲載されています。
知人のふりをして被害者に声をかける、意図的に音を出して注意を引くなど、
ひとりひとりの小さな行動が痴漢撲滅につながります。

○斉藤章佳(2017年) 『男が痴漢になる理由』 イースト・プレス

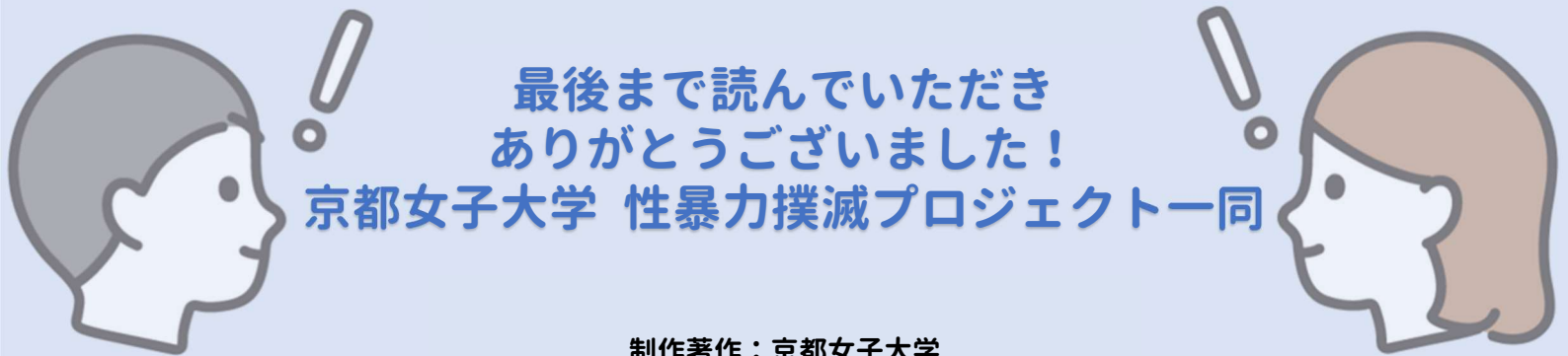
<https://www.eastpress.co.jp/goods/detail/9784781615714>

精神保健福祉士として痴漢加害者と向き合い続ける著者が、痴漢が依存症で
あることや、加害者が抱える認知のゆがみなどの問題に触れ、社会で誤解
されている痴漢の実態を分析しています。

○原田隆之(2019年) 『痴漢外来—性犯罪と闘う科学』 筑摩書房

<https://www.chikumashobo.co.jp/product/9784480072566/>

痴漢を行う人々に共通する「認知のゆがみ」とはなにか、どうすれば痴漢を
やめさせることができるのか。痴漢の「治療」プログラムを通して日々
痴漢加害者と接する著者が、痴漢の実態に迫った一冊です。



最後まで読んでいただき
ありがとうございました！
京都女子大学 性暴力撲滅プロジェクト一同